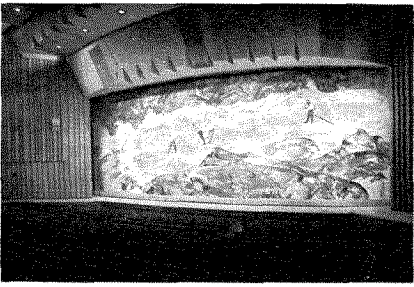


私たちの文化の殿堂 県民文化会館 オープン



「経済と福祉と文化が、調和のとれた姿で発展すること、これが真の意味の郷土の発展である」これが、大橋知事の県政を担当する姿勢です。

県では、より一層文化の香り高い郷土づくりをめざして、「県民文化祭」を始め、紀伊風土記の丘の建設、遺跡、遺物の発掘や調査、文化財の指定と保護、幅広い文化顕彰など、文化行政に力こぶを入れてまいりました。

熊野三山の信仰を背景に熊野詣（もうで）で栄えた旧熊野街道が国道三十一号線に昇格したのを機会に、熊野文化を県民の手に取り戻そうと、総合的な調査を進めています。そのほか県立近代美術館の開館と博物館の設置、文化団体の育成、助長をめざした文化団体連絡協議会の発足など、新しい施策をどんどん打ち出しています。

県民の文化交流の場に

立派な県民文化会館も完成しました。三年有余の歳月と、十四億円を超える巨費を投じて、まこと紀の国文化の殿堂にふさわしい偉容を見せています。

二千人を収容できる大ホールは、東京国立劇場と同じスケールの舞台を持ち、今まで実現できなかった夢の地方公演を、この和歌山で見ることができるようになりました。

そのほか、四百五十人収容の小ホール、大小十六の集客室、青年、婦人、こどもの特設コーナー

もあり、県民の文化交流の場としてだれもが気軽に利用できるようくふうされています。

各地で多彩な

第三回県民文化祭

「第三回県民文化祭」はこの会館びらきを記念して十一月三日から二十五日まで、県民文化会館を中心に県下一円で多彩な行事をくりひろげます。特にことしは、昨年度までの移動音楽会に加えて人形劇団、ひとみ座、新宮から橋本までの県内七会場地方公演を計画。地方の人々の期待を集めています。

また、有田市や、高野、九度山、下津、湯浅、太地の各町などで、市民音楽会や町民文化祭が計画されており、県民文化祭は、文字どおり県民の心を一つにつないで、県内一円に文化の輪をひろげていくのです。

美しいものにふれ 育てる心を

近年、急激な科学技術の進歩は、経済の高度成長をうながし、生活は近代化され、合理化されてまいりましたが、反面、交通・公害などの新しい問題を生み、ストレスは、私たちの生活を灰色に包んでいます。

それだけに、美しいものを愛し、人間を愛する心を日常生活の中に育てて行く努力が、今こそ一番大切な時なのです。

スポーツを通じて人間性を豊かにするのも、芸術、文化の世界で、真・善・美を追求するのも、この心に通じる行為ではないでしょうか。

県民文化会館の完成と、県民文化祭の開催を機会に身近な文化活動に積極的に参加し、美しいものにふれ、それを育てる心を、私たち一人一人の心に、しっかり植えて行くことはありませぬか。



《第三回》 和歌山県民 文化祭

演劇

華岡青洲の妻
文学座公演、杉村春子ほか。
11月3日、大ホール。
1時半・6時15分
(千五百円、千二百円、八百円)
県民文化会館（三六—二三三）
うかれバイオリン
劇団四季公演、子どものためのミュージカル・プレイ、いづみ・たけし。11月6日、大ホール。あさ10時（無料）
和歌山青年文化協会
なやたけ
劇団四季公演、北天路歌也ほか。
11月6日、よる6時、大ホール。
(千五百円、千二百円、九百円、六百円) 和歌山新報社（二二三—二二二）
ホコヤラ市の11人ほか
ひとみ座公演、11月11日あさ10時、大ホール（こども二百円、大人四百円）和歌山青年文化協会、県広報課（二二—一六—一一）

音楽

オペラ「大仏開眼」
二期会、京響、11月5日、大ホール。6時（入場整理券）
県教委文化財課
シャンソンのついで
出中のり子ほか。11月7日3時、大ホール（六五〇円）
四国放送（二二—六三—九一）
第三回県民合唱祭
出演千人の大コーラス。11月8日12時半、大ホール（無料）
県合唱連盟
ギター・マンドリン演奏会
11月8日2時、小ホール（無料）
県小型映画連盟
歌謡ショー
三波春夫、11月10日、1時半・6時半、大ホール（千二百円、八百円、五百円）県民文化会館
バレエ・現代舞踊祭
11月15日1時、大ホール（無料）
京響演奏会
指揮若杉弘、ピアノ矢田暎子
11月16日、6時半、大ホール（千円）和歌山放送
ウエルナー・ミューラー
演奏会
(リカルド・サントス・楽団)

邦楽

謡曲大会
謡曲の素謡大会。11月4日10時、小ホール（無料）
邦楽芸能祭
長唄、舞踊などの邦楽まつり
11月13日12時半、大ホール（三百円）県芸能協会（二二—二二—二六）
邦楽演奏会
華道家菊原初子など特別出演
11月22日11時、大ホール（五百円）県邦楽家協会（二二—三三—三三）

その他

こけら落とし
(大ホール) 寿三番叟、吾妻徳弥、京鹿子娘道成寺、吾妻徳弥、入場整理券（小ホール）
能舞台披露仕舞、和歌山能楽会。いずれも11月2日
記念講演
松下幸之助。有吉佐和子。
11月4日1時、大ホール
県民文化会館
マジック・フェスティバル
11月8日6時、大ホール（無料）奇術愛好会
第二回民俗芸能大会
県下各地の無形文化財のうち9団体が出演。11月11日5時半、大ホール（入場整理券）
県教委文化財課
俳句大会
紀伊山脈行会会長の選句会。
11月8日、県民文化会館会議室。

茶会

県民文化会館茶室びらき記念茶会。11月7・8日
8ミリ映画祭
郷土の素顔をテーマに、優秀14本を上映。11月7日1時・6時、小ホール（無料）
県小型映画連盟
映画のついで
黒潮団など秀作6本を上映
11月9日から12日まで毎日1時・3時の2回、小ホール

展示催し

総合美術展
生花と他の部門の二者それぞれ、のテーマで出展。10月29日（無料）和歌山文化協会
県展
11月2日、16日、近代美術館

11月25日6時30分、大ホール（千八百円、千五百円）和歌山放送（二二—一六—六）

12月4日、6日、田辺第2小
12月12日、14日、新宮市市民会館（いずれも無料）
いはな協会展
ふるさとの伝統と若さをテーマに七五〇出版。11月3日、16日、県民文化会館4階（無料）県いはな協会
写真展
紀州のまつりとおりをテーマに優秀作約50点を展示。
11月20日、25日、近代美術館（無料）全写真連盟本部
いはな展
テーマふるさとを生ける。11月20日、25日、近代美術館（無料）県華道連盟

人形劇地方公演
こども向きの人気だし物。
ひとみ座による人形劇。
●新宮市市民会館、11月7日、1時・4時。
●田辺市田辺高校体育館、11月8日、10時・2時・6時。
●御坊市市立体育館、11月9日、10時・1時・3時。
●有田市市民会館、11月10日、2時半・6時半。
●那賀郡打田中学校体育館、11月13日、3時・7時。
●橋本市市民会館、11月14日、10時・2時・6時。
●海南市日方小学校、11月15日、10時・1時半。
(こども二百円、大人四百円) 各県事務所などで取り扱い。
移動音楽会
演奏団のへき地公演。
●野上町野上中学校、11月1日、12時半、県警察音楽隊。
●高野町高野山小学校、11月22日1時、和歌山混声合唱団。いずれも無料。

高校の催し

高校芸術祭
○書道展、11月5日、9日、九正百貨店。
○器楽の部、11月12日1時、大ホール。
○合唱の部、11月14日2時、大ホール。
○美術展、11月20日、25日、近代美術館（いずれも無料）
高校演劇祭
プロットごとにコンクール、優秀6校が上演。11月13日9時、小ホール（無料）

注目のホールおよび、小ホールはそれぞれ県民文化会館を省略。

硫酸化物自動測定機による大気汚染の状況 昭和44年1月～12月

測定場所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
西保健所	0.025	0.024	0.033	0.035	0.043	0.034	0.040	0.025	0.023	0.008	0.023	0.019	0.029
湊会館	0.063	0.041	0.046	0.033	0.028	0.023	0.009	0.022	0.018	0.026	0.046	0.072	0.036
河西中学校	0.037	0.041	0.025	0.015	—	—	—	0.022	0.021	0.015	0.017	0.019	0.023
東消防署	0.090	0.077	0.075	0.071	0.056	—	0.046	0.039	0.038	0.041	0.062	0.061	0.061
衛生研究所	—	—	—	0.029	0.029	0.026	0.018	0.018	0.026	0.023	0.053	0.074	0.033
中之島小学校	—	—	—	—	0.033	0.020	0.034	0.032	0.033	0.038	0.055	0.045	0.038
海南市役所	0.035	0.067	—	—	0.044	0.034	0.039	0.034	—	0.022	0.037	0.033	0.037
内海小学校	0.068	0.067	0.063	0.067	0.054	0.034	0.032	0.043	0.032	0.025	0.040	0.031	0.047
下津農協大塚支所	0.105	0.064	0.078	0.052	0.053	—	—	0.026	0.040	0.064	0.068	0.056	0.058
初島小学校	0.048	0.046	0.079	0.047	0.042	0.024	0.013	0.021	0.058	0.058	0.072	0.058	0.048
野上小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.010	0.012	0.013	0.012

(注) 大気保全に関する環境基準は年平均値0.05ppm以下となっています。

公害汚染

「目が痛くてあいてられない」「ノドが刺激されて息苦しい」「洗濯物が汚れる」など、大気汚染による苦情は年々とも多くなっています。

工場、同宇須・小維賀地区の化学工場群、海南市・有田市・下津町における石油三社、海南火力発電所などの硫酸（いおう）酸化物（あ）硫酸ガス（か）や、ばい煙（ばい）じんなどがその主な原因ですが、紀南地方でも、オガ屑加工工場や炭化工場などから発生する粉じん、悪臭などの苦情があり、大気汚染は全県的なひろがりを見せています。

知事も先頭に立って現地視察（和歌山市河西地区で）



公害防止にきびしい監視の眼

急速な技術革新と、高度経済成長にともなう増産の必要性から、生産施設の増設・改造が急ピッチで行なわれ、操業に防除施設が追いつかず、反面技術的な困難さも加わって、汚染に拍車をかけたことは否定できません。

一方、固体燃料から液体燃料への需要の変化も、硫酸化物による大気汚染を大きくしている要因のひとつです。

また、時代の推移にともなう健康で快適な生活への要求が高まり、公害問題の根本的解決への要請が強まってきました。

県では、このような実態と住民の切なる要求にこた

騒音

騒音、振動など局地的現象による公害は、日常生活上身近な問題であるだけに、その内容も複雑、深刻で、県によせられる苦情、陳情も年々多くなっています。

防止施設に利子補給

県では、騒音や振動に対する住民の苦情や陳情にこたえて、徹底的にその原因を究明する一方、騒音規制地域を指定して監視パトロールの強化を図っています。

県民総ぐるみで

大橋知事は、九月県議会の補正予算案の説明で、特に対策連絡会議の新設、さらには、地域住民、労働代表を力説、「公害に先手の姿勢で、公害防止の計画として、公害防止のための真剣な施策を打ち出しています。

このように、一連の公害規制法や条例の設置、研究機関や協議の場が確立されても、これで公害問題の根本的な解決にはなりません。公害の防止には、総合的な施策と、企業の努力と、地域住民の協力の結果が必要であり、今こそ法の正義と、科学の研究成果と、住民の健全な良識の上に立つて、県民総ぐるみで、公害追放にまい進すべきであります。



「愛の日」多彩な福祉を高める
○「ママさん会館」白浜町に、十二月中旬に誕生予定。
○「身体障害者福祉センター」建設はじまる（和歌山市）
○「紀伊風土記の丘建設」す

公害に先手を打つ!!

「青い空 きれいな川 静かな町」を合言葉に――

「公害に先手を打って行く。これからの県政は、まず、人間を大切にすることを中心に考えて行かねばならない――これが大橋知事の公害に対する姿勢です。

公害問題に対しては、県民の生活を守ることを最優先に考え、敢然と公害に挑む決意を表明したのです。

公害とは何か？については、見る角度、立場によってさまざまな意見がありますが、ここでは広い範囲にわたって多数の人々の健康や生活環境に被害が生ずる状態――いわば社会的災害と意味づけ、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動および悪臭の、いわゆる典型的五公害のうち、おもなものについてその実態と対策を取りあげてみました。

特に、橋本川合流点では下水の流入やゴミの投棄でBOD値五PPMを記録したこともあり、砂利採取によるにぎりもどく、貴志川などに比べて四倍以上の濁度を示しています。

水質汚濁は、なんといっても和歌川を中心とする和歌山市内の内川。紀の川も、例外なく汚染の進行が心配されています。

汚染の実態調査を進める一方、関係企業主に汚水処理の改善を勧告してきました。また、海草橋・小維賀仮

海域では、和歌山・海南・下津・初島、湯浅、新宮で汚染調査を実施しています。新宮市佐野川河口で、COD二十二PPMを示したのを始め、各港口地先水域付近で汚染がみられますが、そのほかは正常な数値を示しています。

しかし、海南、下津、初島湾内では、石油精製会社の工場排水と、タンカーによる油の汚濁があり、臭気の問題が起ったこともあります。また紀伊水道を航行する船舶の廃棄物による海域汚染もひどく、監視対策の強化を望まれています。

汚水処理や「下ドロしゅんせつ」できれいな川に
県では、四十二年八月に「内川浄化対策室」を設置。

工場排水の浄化は、先に和歌山市が建設した塩屋汚水処理場に、宮前・芦原地区百五十の化学・皮革工場

水質汚濁の防止は、「公共用水域の水質の保全に関する法律」を根拠として、水域を指定し、法による規制と、県条例による排出規制を進めています。

現在指定されているのは、前述の和歌川の一部だけで今後さらに、和歌山、海南、下津、新宮海域および紀の川の指定をめざして調査を進めています。

県民総ぐるみで
大橋知事は、九月県議会の補正予算案の説明で、特に対策連絡会議の新設、さらには、地域住民、労働代表を力説、「公害に先手の姿勢で、公害防止の計画として、公害防止のための真剣な施策を打ち出しています。

このように、一連の公害規制法や条例の設置、研究機関や協議の場が確立されても、これで公害問題の根本的な解決にはなりません。公害の防止には、総合的な施策と、企業の努力と、地域住民の協力の結果が必要であり、今こそ法の正義と、科学の研究成果と、住民の健全な良識の上に立つて、県民総ぐるみで、公害追放にまい進すべきであります。



県下主要河川の水質汚濁の状況 (BOD値)									
河川名	昭和42年度			昭和43年度			昭和44年度		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
紀の川	—	—	0.90	2.86	0.03	0.83	5.0	0.11	1.19
有田川	—	—	0.49	1.54	0.14	0.75	0.9	0.7	0.8
日高川	—	—	0.8	0.93	0.1	0.39	0.7	0.3	0.5
新宮川	—	—	0.58	—	—	—	0.4	0.2	0.3
和歌川	311	185	248	—	—	—	260	142	196
市田川	—	—	—	—	—	—	21	8	18

(注) アユの住める範囲は、おおむね2ppm以下とされています。

●用語の解説
「PPM」Parts Per Million の略で、100万分の1の単位。したがって大気の場合は、大気1m³中に1cc が含まれている状態を1ppmと言う。
「BOD」生物化学的酸素要求量のこと。20℃5日間、水中の有機性物質が、微生物によって酸化される際に消費する酸素の量を言い、河川水や廃水、下水などの汚濁の程度をあらわすのに用いられる。(BODの高い水は、有機物を多く含んでいることを示し、魚の住める範囲は、おおむね5ppm以下とされている)
「COD」化学的酸素要求量のこと。BODと同じく、主として海域の汚染度をあらわすのに用いられる。
「ホン」音の大ききのレベルの単位。